

開校 150 周年



学 校 だ よ り

は え
南 風 の 子

中種子町立
南界小学校

令和5年5月12日

備えあれば・・・

校 長 芝原 にほ

新年度が始まり，ゴールデンウィークも終わりました。この間，子供たちが元気よく登校していることをうれしく思います。5月2日の春の一日遠足は，油久小学校の皆さんと出かけました。広田遺跡ミュージアムやたねがしま赤米館では，学校毎の見学でしたが，宇宙科学技術館で自由行動になったあたりから交流が始まり，昼食後には両校入り乱れてのドッジボール大会が始まっていました。特に，顔合わせの会等をしたわけではありません。子供たちのコミュニケーション力の高さに感心しました。

さて，楽しい気分で迎えたゴールデンウィークでしたが，終盤の5日，石川県能登地方で大きな地震がありました。テレビ放



送が一斉に地震速報に変わり，ぐらぐら揺れる画面を不安な気持ちで見ていたのは私ばかりではないと思います。

今さら，言うまでもありませんが，日本は地震大国。令和5年9月1日は，関東大震災発生から100年になるそうです。関東大震災では，約10万5千人が亡くなり，国家予算が14億円の時代に約55億円の経済被害があったと言われています。亡くなった方の9割は，地震発生時刻が昼食時間と重なったこともあり，焼死だったそうです。今では，9月1日は，防災の日と定められています。その後，1995年1月17日の阪神・淡路大震災では約5,500人，2011年3月11日の東日本大震災では約1万8千人の尊い命が失われました。このときは，9割が溺死とみられています。このときの教訓から，多くの学校で津波に対する避難訓練も実施されるようになりました。

本校でも，6月8日に地震・津波の避難訓練を実施します。もし，南海トラフ地震が起こったとしたら，種子島には30分前後で津波が到達すると予想されています。本校では，津波の際の避難場所は学校と考えています。授業中の場合には学校に留め置き，安全が確認され次第，保護者に引き渡すという計画で訓練を実施します。引き渡しについては，5月13日に訓練を実施します。



各御家庭での災害への備えは十分でしょうか。もし，子供だけが家にいるとき，地震や津波に襲われたらどうしたらよいのか，この機会に再度，話し合ってみてください。避難訓練は実際に避難行動をシミュレーションするのはもちろん大切ですが，防災に対する確認をする機会として重要なのです。「自分の命は自分で守る」ためには，正しい知識と経験が必要であり，それを与えてやるのは大人の役割なのではないでしょうか。